

2025 年度スクリーン印刷技術研究会セミナー

「スクリーン印刷の新工法と機能性インキ、製版技術の動向」

スクリーン印刷は、原理的に優れた特性を持つ印刷方式です。スクリーンメッシュとスキージの働きで、広い面積で均一な膜厚を得られることや、幅広い粘度範囲のインキ、ペーストが安定して印刷できる事が大きな特長です。各要素技術の適正化で、高品質なスクリーン印刷が可能になります。

当研究会では、スクリーン印刷の工程能力の高さや技術的・ビジネス的な「伸びしろ」をより多くの方に納得していただくために、定期的に基礎講座や要素技術の動向に関してのセミナーを開催しています。

今回のセミナーでは、新規のインキ厚盛工法としてスクリーン印刷を利用したリバース型転写技術及びメタルマスクを使用した新規印刷工法の紹介と併せ、重要な要素技術である UV インキ・機能性ペースト、そして高品質なスクリーン製版技術について、4名の講師の方にご講演いただきます。

主催：(一社) 日本印刷学会 技術委員会 スクリーン印刷技術研究会

協賛：(一社) 日本印刷産業連合会、(一社) 日本印刷産業機械工業会、全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会、スクリーン印刷インキ協同組合、日本スクリーン印刷資機材工業会、(一社) 日本写真学会、(一社) 日本画像学会、(一社) 画像電子学会

日時：2025年12月4日(木) 13:30~17:00 (配信開始 13:00)

方式：WEBセミナー (ZOOM) 日本印刷会館 会議室から配信

*但し、対面受講は少人数可 (希望者は申込終了後、事務局にメールで申し込んでください。)

プログラム

13:30~14:15

1. リバース型転写機構を用いたインキ厚盛技術

島根県産業技術センター 化学材料科 金山 真宏

島根県産業技術センターでは、成長市場への参入に向けた新製品・新技術の研究開発を進めており、そのひとつとして、(株)曾田鐵工と共同で新工法となるリバース型転写機構を有するスクリーン印刷装置を開発した。インキを意図的に堆積させる独自の技術により、材料に負担をかけず、これまで実現が難しかった厚盛のパターニングが可能であり、多分野・異分野への展開が期待されている。

14:15~15:00

2. UV インキと機能性導電ペースト

十条ケミカル株式会社 営業部 田野倉 善之

UV インキの使用実例を用い、製品の特徴、最近の国内外環境規制に応じた弊社の取り組みをご紹介します。また、導電性材料用いた機能性ペーストのラインナップをご提示し、各製品の特徴、検討用途事例などをご紹介します。

《 15:00~15:15 休憩 》

15:15~16:00

3. スクリーン製版の製造と応用技術について

メッシュ株式会社 技術部 マネージャー 高木 眞二

スクリーン製版の製造技術は、印刷対象の高精度、高精細化に合わせて進歩してきた。本講演ではスクリーン印刷において発生する様々な事象に対処する為に、製版作製時にどの様な点に留意すべきかを、各工程別に紹介する。また、乳剤塗布技術や露光技術を応用することで、今までにはあまりなかったような印刷を行うことができる製版についての紹介も行う。

16:00~16:45

4. メタルマスクによる「同期版離れコンタクト印刷」

株式会社ミノグループ 機械事業部 総合印刷技術課 廣木 将人

通常、メタルマスク版を用いたクリームはんだの印刷では、メタルマスク版と基板のクリアランスを 0 mm とするコンタクト印刷で印刷される。メタルマスク版の中にクリームはんだを充填した後、強制的にメタルマスク版と基板を引きはがす方法（時差版離れ）で印刷しているため、メタルマスク版に不均一にクリームはんだが残ることがあり、安定して均一に印刷することが難しい。

本講演では「MS モード」を使用して、コンタクト印刷でありながらスキージによるクリームはんだの充填と版離れを同時に行う「同期版離れコンタクト印刷」で印刷することによって、安定したクリームはんだの印刷ができる事例を紹介する。また、メタルマスク版を用いた高粘度ペーストの印刷や、低粘度インキの定量塗布事例を紹介する。

質疑応答

お申込とご案内

① お申込

日本印刷学会ホームページ <https://www.jspst.org/> から該当する催事参加申込フォームに必要な事項を記入して送信下さい。

● トップページ ⇒ What's New の催事ご案内 ⇒ [詳細] ⇒ 申込方法：⇒ 申込フォーム

URL：<https://www.jspst.org/generateApplicationForm.cgi>



※定員：200 名（定員になり次第締切ります）

※参加費振込により申込完了となります（未振込の状態では申込は完了となりません）

※他の催事申込み用フォームが同じページに掲載されている場合がありますので、

申込フォーム記入の際には、参加予定の催事を必ず確認して下さい。

※申込みフォームからは、会場参加を選択できますが、オンライン参加を選択して下さい。

対面受講をご希望の方は、少人数のみ可となっております。申し込みフォームでの申込後、「対面受講を希望の旨を事務局にメールで」申し込みをお願いします。

※ホームページが利用できない場合は、参加希望の催事名称と申込者の氏名、所属、

電話番号、メールアドレスを明記して、メールで事務局へお申込み下さい。

（一社）日本印刷学会 事務局 E-mail：nijspst-h@jspst.org

② お振込

期限：2025年11月27日（木）までに指定口座へ参加費をお振込下さい。

●参加費：

個人会員・賛助会員・協賛団体会員；5,000 円、非会員；8,000 円

※視聴される方 1 名あたりの費用です。複数の方が同一 PC 等から参加する場合は、申込者とメールアドレスを同じにして聴講者ごとに人数分のお申込みをお願いいたします。

※大人数の一括支払いで請求書発行をご希望の場合は、直接、事務局宛のメールでお申し込みください。

●振込口座：

みずほ銀行（銀行コード 0001）銀座支店（店番 035）普通口座

口座番号：0050227 口座名義：シヤ）ニホンインサツガツカイ

※振込者名は、申込み時に登録した方のお名前（フルネーム）として下さい。

まとめてのお振込みは、社名・人数をご記入下さい。

※振込手数料は、振込者をご負担下さい。

※領収書は、金融機関から発行される振込票などをもって代えさせていただきます。

※参加費振込後の取消はお受け出来ませんので、代理参加をお願いいたします。

③ ご案内

2025年12月2日（火） 午後に、参加認証メールを申込み時に登録されたメールアドレスにお送りします。

※参加費の振込照合がとれた方が対象です。

※セミナー視聴用 zoom URL と資料 PDF ダウンロード方法をお伝えします。

※迷惑メール設定をされている場合は、当学会からのメールが受信可能な設定として下さい。

※12月2日（火）夕刻までに参加認証メールが届かない場合は、事務局に問合せ下さい

（一社）日本印刷学会 事務局 電話： 03-3551-1808 E-mail： nijspst-h@jspst.org

お断り：終了時間は予定であり、多少前後することがあります。